

ゆたかクラブ豊橋だより

去 秋



第62号

発行 / ゆたかクラブ豊橋(豊橋市老人クラブ連合会) ■編集協力(株)博報社 / 名古屋市北区田幡2-13-23 2F-B ☎0120-0212-09

2018
11/15
木

第28回豊橋市シルバースポーツ中央大会

各校区の精鋭選手 300 人が豊橋陸上競技場・豊橋球場に集う!

11月15日(木)、豊橋陸上競技場および豊橋球場において第28回豊橋市シルバースポーツ中央大会が開催され、約300人が参加しました。

市内9ブロックの予選を勝ち抜いた33校区の精鋭が、ゲートボール、ペタンク、グラウンド・ゴルフの3種目で熱戦を繰り広げ、ブロック優勝を目指しました。

競技は豊橋球場でペタンクとゲートボール、隣接した豊橋陸上競技場でグラウンド・ゴルフを実施。澄みきった青空が眩しいほどの快晴の中、ゲームが始まると各種目でチームメイトと作戦を話し合ったり、プレー中に声を掛け合うなどまさに真剣そのもの。しかし、ときには敵味方かわらず談笑するなど、大会は和やかな雰囲気で行われました。

閉会式では成績発表が行われ、大清水ブロックが見事総合優勝し、大会連覇を達成しました。種目別表彰も行われ、参加者から都度温かい拍手が送られました。



★
ブロック総合優勝

大清水ブロック



〈優勝コメント〉

連覇達成のカギは総合的な力がついていた成果と思います。8校区全体で普段から各種目をプレーしています。

★
ブロック総合準優勝

牟呂ブロック



〈準優勝コメント〉

大会での入賞は初めてでビックリしています。来年はブロック優勝を目指して頑張ります!

種目別結果

| | | |
|-----------|-----|-------|
| ゲートボール | 優勝 | 花田校区 |
| | 準優勝 | 高豊校区 |
| | 第3位 | 嵩山校区 |
| ペタンク | 優勝 | 高師校区 |
| | 準優勝 | 小沢校区 |
| | 第3位 | 杉山校区 |
| グラウンド・ゴルフ | 優勝 | 野依校区 |
| | 準優勝 | 吉田方校区 |
| | 第3位 | 二川校区 |



新年のご挨拶

ゆたかクラブ豊橋
(豊橋市老人クラブ連合会)
会長 今川 智嗣

新年あけましておめでと
うございます。ゆたかクラ
ブ豊橋会員の皆さまにおか
れましては、お健やかに新
しい年をお迎えのこととお
喜び申し上げます。また、
皆さまの絶大なるご支援と

ご協力のお蔭で、会長職2
年目をこまごまで無事に務め
ることができましたこと、
心より感謝申し上げます。
さて、2018年は、毎
年発表される今年の漢字
「災」が表すように、北海

道胆振東部地震や西日本豪
雨、大型台風の直撃など、
災害が多発した年でありま
した。また、豊橋でも台風
の直撃による大規模な停電
に見舞われました。電気の
ない生活の不便さに、日頃
からの備えの重要性を改め
て感じた方も多いのではな
いかと思います。
台風の他にもこの地域に
は「いつ起きてもおかしく
ない」と言われて久しい、

南海トラフ地震の危険もご
ざいます。このような災害
が起きた時に支えとなるの
はなんといいっても、地域に
おける人と人とのつながり
ではないでしょうか。老人
クラブの強みは人間関係を
より濃く築けることだと私
は思っております。今年も
各単位クラブでサロン活動
や支えあい活動がより活発
に行われることを切望いた
します。

また、ゆたかクラブ豊橋
でも、各種スポーツ大会や
演芸大会等の行事を多数開
催しておりますので、ここ
らにも積極的にご参加いた
だき、校区の絆、ひいては
豊橋の絆を深めていただ
ければ嬉しいです。
結びに、この新しい年が、
皆さまにとりましてより佳
き年になるよう心より祈念
いたしまして、新年のご挨拶
とさせていただきます。



婚・金婚を迎えられ
た皆さまを、盛大に
お祝いしたいと存じ
ます」とあいさつが
ありました。
その後の顕彰で
は、平成17年から認
知症予防会を開催
し、豊橋市民の健康
増進や介護予防に大
きく貢献している上
村清三さんを老人福
祉事業功労者として
たたえ、感謝状が贈
られました。

鈴木孝昌県議会議員が祝辞
を述べました。
その後、思い出スライド
の時間となり、ステージの
スクリーンに豊橋市の変わ
りゆく街並みや東京オリ
ピック、月面着陸、大阪万
博など懐かしの写真が次々
と映し出されました。来場
者は、共に歩み続けてきた
時代に想いをはせながらス
ライドを眺めていました。
最後に鈴木副会長による
「大会宣言」が拍手をもつ
て承認され、第一部は終了
しました。

第2部は、恒例となった
「花男子による花贈りパ
フォーマンス」が行われま
した。花男子とは、「日本一
花を作る町を、日本一花を
贈る町にする」を合言葉に
活動している
パフォーマン
ス集団。音楽
に合わせて即
興のブーケが
完成すると、
客席から3組
のご夫婦がス
テージに上がり「花贈り」
がスタート。日頃なかなか
口にできない感謝の言葉と
一緒に旦那さまから奥さま
に花が手渡されると、客席

から大きな拍手が沸
き起こりました。
その後、サプライ
ズとして会場にいる全ての
旦那さまに花が配られ、全
員で「花贈り」を行い会場
は温かい空気に包まれま
した。

8月23日、豊橋市公会堂
で、第55回豊橋市高齢者福
祉大会が開催されました。
第一部は夏目副会長の
「開会のごことば」で開幕し
ました。国歌斉唱、物故者
への黙とうに続き、主催者
を代表して佐原光一市長の
あいさつの後、市老連今川
会長から「長年に渡り、高
齢者福祉の向上に尽力くだ
さった方の功労をたたえる
とともに、ダイヤモンド

次に結婚60周年を迎えら
れたご夫婦78組と、50周年
を迎えられたご夫婦111
組への祝詞贈呈が行われま
した。代表として、仁連木
町の高橋誠・きみよさんご
夫婦にダイヤモンド婚の祝
詞を、小島町の朝倉光夫・
悦子さんご夫婦に金婚の祝
詞を贈呈しました。
続いて来賓の藤原孝夫市
議会議員、根本幸典衆議院
議員、関健一郎衆議院議員、





第13回とよはしシニアフェスティバル



第50回 趣味の作品展

広報文化部長 小山 正博

10月24日から26日までの3日間、豊橋市民文化会館展示室で、今年度で50回目を迎えた趣味の作品展が行われました。
出品者数が219名。出品点数が258点。そして来場者数は初日が163名、2日目が292名、最終日は半日でしたが80名、3日間の合計は535名になりました。

設案町のハートをモチーフにした土偶がユニークでした。写真では高校野球甲子園100回記念に寄せて、六大学野球当時の長嶋茂雄選手とその友人が時を刻んで写る写真を寄せてくれています。御在所の雪景色の赤い乗り物、一瞬をとらえた浜松航空隊のブルーインパルスなど強く印象に残りました。

絵画ではクレパス画の『猫、阿吽の呼吸』表現が楽しい。高師緑地の松の根っこはスリリと胸に生えてくるようでした。ぬり絵は色鉛筆を選ばず、楽しさが伝わってきました。藍染は今回初の出品で、対象物から光と微笑みをもたらす



いたようです。それぞれの絵手紙。書家の心を映す文字に果敢に挑戦する96歳は素晴らしいです。
前芝校区の灯籠は今年で4回目、会場を彩ってすてきでした。やはり心が映っています。
どの作品にも出展者の心ばえを感じました。



第27回 女性部 チャリティーバザー

女性部長 戸鹿島はつ子

ゆたかクラブ豊橋女性部の活動として、10月24日から26日の3日間、豊橋市民文化会館リハーサル室でチャリティーバザーを開催しました。お天気に恵まれ、各校区から日用品・衣類・食料品・手作り品・雑貨など13,300点余りの物品が寄せられました。私たちが女性部は、「健康・友愛・奉仕」の目的で皆さまでに喜んでいただけるよう

話し合いをしてきました。ゆたかクラブ豊橋に入会して、多くの行事に参加し学び、大勢の仲間とバザーの準備ができたことをうれしく思います。良い絆ができました。
このバザーは毎年人気があり、3日間とも朝から長蛇の列ができました。25日に開催された趣味の演芸大会の参加者も、バザーでの買い物を楽しみだと言っていました。

3日間の行事が無事終わり、皆さまにも満足していただくことができました。来場者の中には毎日足を運んでくれた方もいました。販売品の場所や並べ方も考えて工夫し、人気の高いティッシュ・石けん・タオル・食料品は毎日公平に購入できるように心掛けました。また、男性の役員の方々の心強い協力があり、運営がスムーズにできました。

この1年間会員の皆さまには、いろいろ協力していただきお世話になりました。これからもこの活動に対して、ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



第41回 趣味の演芸大会を省みて

生きがい事業推進部長 岩月 淳一

10月25日、第41回趣味の演芸大会が豊橋市民文化会館ホールにて開催されました。私は、今年度も昨年度に引き続き司会を仰せつかり、遅れては大変と早めに会場に着きました。会場前にはすでに、白のブラウスに黒のロングスカートのいでたちの皆さんが待っていて、最初から熱気を感じました。

いよいよ開始5分前、会場の注意事項が最初の放送でした。次に開会の言葉、ゆたかクラブ豊橋の会長あいさつと続き、出場グループの紹介になりました。果たして自分の声がお客さまに気持ちよく聞いていただけるのか、間違ひなく言葉が発することができると不安いっぱい。昨晩何度も読み返したシナリオを赤インピツでなぞりながらの放送でしたが、4、5番くらいになつて少し落ち着きました。



出場グループも新旧今年度は、出場グループ29組・参加者数396名。いずれも昨年を下回ったところがとても残念でした。これには、参加者が高齢になって出場を辞退する等いろいろ

いろいろな事情が考えられますが、今後は出場者が増えることを願っています。
私はBSテレビで男女混声の『フォレスト』というコーラスグループが童謡・唱歌を歌っているのを見ます。よく「一人では歌えないが、合唱のようにみんなと歌うのであれば歌ってみたい」という声も聞きます。来年は多くの皆さんが、歌う楽しさを感じて舞台の上で上げられることを期待しております。

各種スポーツ大会結果報告

第6回 富安貞夫杯 ゴルフ大会

- ◎日 時 平成30年11月26日(月)
- ◎場 所 新城カントリー倶楽部
- ◎参加人数 121名

お楽しみ賞をかけたじゃんけん大会などもあり、閉会式も大いに盛り上がりました!



| 順位 | 氏名(校区名) |
|-----|-----------|
| 優勝 | 藤井 義徳(植田) |
| 準優勝 | 小林 秀人(植田) |
| 第3位 | 山本 英司(大崎) |



〈ドラコン賞〉

| | |
|--------|---------------------|
| 北コース6番 | 夏目 六次(植田)、百合嶋昭光(向山) |
| 東コース9番 | 柘植 重明(花田)、小森 征夫(福岡) |
| 南コース3番 | 小柳津直彦(西郷)、藤山 虎雄(高師) |

〈ニアピン賞〉

| | |
|--------|---------------------|
| 北コース3番 | 藤井 義徳(植田)、川合 利廣(谷川) |
| 東コース2番 | 原田 尚己(向山)、山本 英司(大崎) |
| 南コース4番 | 河原 啓(富士見)、長坂 育子(高師) |

第6回 ボウリング大会

- ◎日 時 平成30年12月12日(水)
- ◎場 所 岩屋キャノンボウル
- ◎参加人数 153名(31チーム)

富士見Aチームはなんと3連覇!

〈団体の部〉

| 順位 | 校区名 | スコア |
|-----|-------|------|
| 優勝 | 富士見 A | 1631 |
| 準優勝 | 新 川 | 1487 |
| 第3位 | 谷 川 | 1483 |



〈個人の部/男子〉

| 順位 | 氏名(校区名) | スコア |
|-----|------------|-----|
| 優勝 | 小柳 良男(大清水) | 407 |
| 準優勝 | 松井 道明(富士見) | 386 |
| 第3位 | 木本 秀次(新 川) | 346 |



〈個人の部/女子〉

| 順位 | 氏名(校区名) | スコア |
|-----|------------|-----|
| 優勝 | 山田 則子(谷 川) | 287 |
| 準優勝 | 坂井万里子(富士見) | 278 |
| 第3位 | 野澤 次子(吉田方) | 273 |

※上記の賞以外に、飛び賞(10位ごと)、ブービー賞を贈呈しました。

高齢者に適したさまざまなスポーツを通して、高齢者の健康を保持し、生きがいを高めるとともに、高齢者相互の親睦を深めることを目的とした大会を開催しました。

第20回 ペタンク大会

- ◎日 時 平成30年9月28日(金)
- ◎場 所 豊橋球場
- ◎参加人数 117名(39チーム)



| 順位 | チーム名 |
|-----|-------|
| 優勝 | 花田 E |
| 準優勝 | 津田 C |
| 第3位 | 津田 E |
| 第4位 | 老津 A |
| 第5位 | 老津 D |
| 第6位 | 小沢 A |
| 第7位 | 津田 A |
| 第8位 | 富士見 B |

第42回 ゲートボール大会

- ◎日 時 平成30年10月3日(水)
- ◎場 所 豊橋球場
- ◎参加人数 78名(14チーム)

| 順位 | チーム名 |
|-----|----------|
| 優勝 | 高豊チーム |
| 準優勝 | つつじが丘チーム |
| 第3位 | 小沢Bチーム |



第20回 グラウンド・ゴルフ大会

- ◎日 時 平成30年11月8日(木)
- ◎場 所 豊橋球場
- ◎参加人数 約400名

| | | |
|------|------|-------|
| 総合優勝 | 男子の部 | 藤崎 邦雄 |
| | 女子の部 | 山内はつ江 |



| 順位 | 男子Aブロック(校区名) | スコア | 男子Bブロック(校区名) | スコア |
|-----|--------------|-----|--------------|-----|
| 優勝 | 藤崎 邦雄(岩 田) | 28 | 西川 義高(二 川) | 29 |
| 準優勝 | 徳毛 良美(二川南) | 29 | 松井 孝師(二川南) | 30 |
| 第3位 | 浪崎 利夫(吉田方) | 30 | 朝倉 規幸(小 沢) | 30 |

| 順位 | 女子Aブロック(校区名) | スコア | 女子Bブロック(校区名) | スコア |
|-----|---------------|-----|--------------|-----|
| 優勝 | 山内はつ江(花 田) | 31 | 鈴木 絹代(幸) | 33 |
| 準優勝 | 杉浦 幸子(下 地) | 33 | 榊原 勝恵(豊) | 33 |
| 第3位 | 宇佐美すみ子(牟呂・汐田) | 35 | 上田さつき(玉 川) | 35 |

校区・単位クラブ活動

石巻ブロック

熱唱に燃えた演芸大会

玉川校区 和楽会 杉浦 敬一

9月8日、ゆたかクラブ豊橋主催の石巻ブロック(4校区)演芸大会が足元の悪い中、9時きっかりに市老連の先陣を切って石巻老人福祉センターで盛大に開催されました。所狭しと会場を埋め尽く



に变身したり、「頑張れ、頑張れ、頑張れ！」コールから、おひねりならぬうちわの涼風に、今日ばかりはスター気取りに酔いしれます。昔覚えた懐かしいメロディーの数々。赤いネクタイにスーツを着込めば曲がった腰も自然に伸び、まさに千両役者。使い回しの花束も笑顔と握手で頂けば、気分はもう極楽浄土。ありったけの情熱をマイク片手にこがしを奮い立たせ、最高の一日でした。無事終わってみれば賞品も参加賞もない???でも、何かホッとした笑顔が10倍20倍に輝くお釈迦様に見えました。スタッフの皆さま、熱唱された皆さま、お疲れさまでした。

岩田校区

老人クラブのカラオケ どうしたら人気が...

北岩田一区老人クラブふたば会 小椋かつ子

町内のカラオケも人が減り、せっかく立派な機械を寄贈してもらい楽しみにしていたけど、機械の操作ができる人は男女2人で大変だ。何かか機械を使いこなせる人をと腹で思っているだけでは仕方ない。町内の男性に声を掛けるのはやはり勇気がいる。それでも何とか、思い切ったこの人ならと思いつけました。「もともと歌は嫌いではないから」と快く受けてもらえてよかったです。「町内にお世話になっているけど



より、一人で歌うのもまた緊張感があった。歩み出して、

カラオケで大きな声を出していれば、認知症、誤嚥性肺炎のリスクも少しは減ると思う。年をとったら人間身も心も丸くなり、鳶に油揚げをさらわれるような人間にならず、穏やかな日々を過ごしたいわね。町内敬老会、お祭り、旅行と外に出て、人と交わってれば、きっと老後は楽しい人生だったと思える日がきますよ。カラオケは部屋の中で暑さ寒さ知らずで楽しむことができるから、一度見学だけでも待ってまーす。

多米校区

私はど元気

第一和来会 坪内 英子

私は12月に誕生日を迎えて、87歳になりました。昨年の春には、思いがけずがんが見つかり、手術をしました。そんな中、11月20日に多米校区老人クラブ和来会のウオーキング大会が開かれました。自分は参加できないだろうと思っていたのですが、会員の皆さんが「今回は歩く距離は短い、ご一緒してください」と

芦原校区

第2回芦老連 みんなで楽しく「体力測定」

芦原校区老人クラブ連合会 伊藤 公満

7年間続いた「歴史探訪ウオーキング」から、このたび見出しのテーマに取り組むことにしました。昨年度はケーブルテレビ「ティーズ」さんの「HOTTステーション」で放映。「体力測定」は日本レクリエーション協会の「レク式体力測定」を、さらに魅力ある活動と、さらに魅力ある局さんに機器による測定の依頼をしたら、快く承諾をいただきました。

実施は11月14日(水)9時30分から芦原校区市民館にて校区5町内の52人が参加。はじめに校区自治会長からあいさつをお願いしました。測定内容は、1.レク式体力測定(日レク、スポーツ・レクリエーションサポーターの皆さんのご協力により実施) ①敏捷性の「10メートル障害物歩行」②柔軟性の「着座体前屈」③総合的な体力の「ツーステップ」④平衡性の「ファンクショナルリーチ」⑤筋力の「タオルしぼり」⑥「ストロー」を使った肺機能測定 2.機器測定(キョーワ薬局 豊橋店さまのご協力により実施) ①骨密度②血管年齢③脳年齢④体組成(水分・タンパク質・ミネラル・体脂肪・骨格筋量・体左右の筋肉・脂肪のバランス) ⑤血圧

福祉村地域包括支援センター渡辺さまにもご協力をお願いしました。前回の結果と比較し、体力づくりの参考に、目標の維持に、そして皆さんがより健康になってもらえればと思います。各クラブの会長・女性部長の協力も多くあり、また今回は2回目なので皆さんも要領を得てスムーズに進みました。皆さん、ご協力ありがとうございました。



校区・単位クラブ活動

東田校区

友達ファースト

東雲町老人クラブ和友会

菅沼 一太



私たちは東雲町老人クラブは友達と和し、楽しく元気に日常生活を送ることができるようにと和友会といたしました。

和友会は2カ月に一度、年に6回の定例会を開催しております。健康で楽しい生活が送れるように、中央地域包括支援センターの先生に講師をお願いしたり、

ゲーム大会、唱歌、または食事会、座談会等で皆さまと一緒に楽しく過ごさせていたできております。また友達と仁連木老人福祉センターにてラジボール卓球を週に5日、9時30分より11時30分まで楽しく元気にやっております。

これからも友達ファーストでいこうと思っております。 蝉が過ぎ そっと見送る 赤とんぼ

谷川校区

秋雨に浮かぶ加子母路と湯煙り漂う下呂温泉の旅

中原町第二立岩会 尾崎 収男

東から上陸する台風、北海道を襲った大地震。変化に富んでいる状況下、9月11日から12日総勢20人、下呂温泉旅行に行ってきた。

正午出発。大雨で増水した飛騨川の濁流を見ながら夕刻ホテルに到着。夕闇に沈む湯煙りの景色を堪能しながら湯に漬かる。皆が楽しみにしていた宴会会場へ。二次会三次会、夜の深まるのも忘れ御前様。

翌朝はすがすがしい顔をして勢ぞろい。本日に高齢者、熟年パワーに驚かされた。本日の行動。市内観光を皮切りに合掌村へと移動する。入場前のひととき、雨脚を気にしながら集合写

真をパチリ。国内で12万体の神仏像を制作された田空館の展示室を見学。荒削りのノミの跡がそのまま残る仏像群、目鼻部分の繊細さ、その姿に魅入られた。

続いて加子母の明治座。噂に聞き及んだ平成の大改修跡を見る。百年を経た今日の匠の技を駆使して復活。歴史の深さを面白おかしく1時間の見学時間も瞬く間に終わってしまった。

昼食は地元道の駅で名物朴葉包みの寿司ご飯に舌鼓。余韻の残るおいしさだった。 「森を生かし、木を活かす」。加子母の杉材は、日本唯一の名木と知られ姫路



城の通し柱、伊勢神宮の御柱、建造物に重要視されている。たくさんの方の知識を勉強させていただいた一行。最終の目的地は何はともあれ名物栗きんとんの仁太郎店へ。お孫さん家族へのお土産にしっかりと買い込み、楽しい和合とともに定刻通り市内の公民館に到着。トラブルも無く全員無事に帰途に就いた。感謝、感謝の一言でした。

牟呂・汐田校区

牟呂・汐田演芸大会

市場第一みなと会 杉浦 文雄

11月8日牟呂市場公会堂にて毎年恒例の牟呂・汐田シルバークラブ連合会の演芸大会が開催されました。

本年度は単位クラブが1つ減少し、出演者が44組と前回より5組ほど少なく寂しい感がありました。一案としてお昼の休憩の後、「とび入りコーナー」を設け、3人から5人ほどの参加を期待していました。

しかし確実性はなく不安がありました。開催一週間ほど前に、カラオケレンタル先のマルカワさんから「とよはし祭り」の歌謡大会で上位入賞者の森田さんが出演されていないと指摘を受けました。この方の出演は受賞報告の上でもぜひ必要な方だと言われ、所属の福寿会の会長さんに出演の依頼をしたところ、快く承諾を得ることができました。これで大会の核がで



き、とび入りコーナーも埋まり安心しました。 その他にも舞踊が4組、フラダンスが2組、麦畑のデュエットがあり、バラエティーに富んだ大会になりました。皆さん本当によく練習して、大会に参加してくれているんだと実感が湧きました。特に圧巻だったのは、「東京たよおっ母さん」を歌われた女性の杉浦さんと、おっ母さんに扮した男性の杉浦さんの演技には皆が圧倒され、拍手喝采、会場の約200人が大いに盛り上がり最高潮となりました。



毎年老人クラブの会員が減少する中、出演者の人数集めにも苦労している状況ですが、高齢者が元気に活躍できる場をつくり、それがまた社会に貢献できればと祈っています。

校区・単位クラブ活動



H30年春、大清水しょうぶ園にて

またこのしょうぶ園のある「彦坂池」には、昨年の秋2400株の芝桜が堤一面に植えられました。数年先には、この芝桜も大清水の新たな名所に加わるものと期待しています。

大清水校区

楽しい春・秋2回の「ウォーキング大会」

第一豊松会 小嶋 義雄

大清水老人クラブは「みんなで楽しく歩く」をモットーに、春・秋2回のウォーキングを行い、毎回多数の会員の参加を得ています。

大清水の春でまず紹介しなければならないのが、花しょうぶです。大輪で気品があり、大清水小学校の校章にもなっています。私たち老人クラブ会員も草取りに参加し、校区みんなで大切に育てています。この花しょうぶが一面に咲く6月初め頃、周辺で「ウォーキング大会」を実施し、大清水の春を謳歌します。



H30年秋、しあわせ地蔵にて

このように、大清水校区の6つの老人クラブは、これからも気軽に参加できる2回の「ウォーキング大会」を通じて、ゆたかクラブ豊橋の目指す「次の世代がここが輝くシニア」に少しでも近づけるよう活動したいと考えています。

会員随想

戦争にまつわる私の体験(抄) 9

二川南校区 山本 民男

軍用列車を送る

前線へ赴くための港への移動でしょう。軍隊専用の臨時列車が時々走りまわった。東海道線沿いに住んでいた私は、踏切で止められるときは手を振って見送りました。日の丸の小旗を振った人もいました。列車からは手を振って応えることは常日ごろですが、一列車で何人かは食、物を投げてくれます。キャラメル、乾パン、ビスケットなどが多かったですが、紙袋の乾菓子もありました。そのころ、子供1日の小遣いは1銭が普通でしたので1箱5銭のキャラメル小箱は貴重でした。大箱は10銭でした。食パンを一度だけ拾いました。

定年後もライバル

中野校区 中野おあす会 彦坂 吉尚

定年後10年を過ぎ、近頃マンネリ気味だ。そんな折、勤めた会社の現役とOBの懇親会があった。会社側から頼もしい事業成果を聞き、工場見学の後、会場のホテルへ移動。

健康寿命に公共交通の活用

飯村校区 東山シルバークラブⅡ 中村 北麿

平成14年に路線バスが廃線になり、不便と寂しさの聲が高まった。それに呼応して有志が集まり5年にわたる誘致活動で念願の豊橋市で最初のコミュニティバス東部東山線の運行が実現した。東部東山線はJR二川駅から豊橋医療センター

り、再びその時の芳香を味わうことはできなくなりました。あるとき、二川駅の引込線に止まっている軍用列車がありました。乗客から見える側のプラインドは閉じたままで、憲兵が巡回しており2〜3日止まっていたでしょうか。後で聞いた話ですけれど、この列車に招集された二川のお医者さんが乗っていて、秘密裏に家に連絡を取ったので、特に厳重に見張られていたようです。この軍隊はサイパンへの救援部隊で、戦場に到着する前に海の藻くずと化したと聞いております。

事を持って、生き生きと過ごしている様子。片や、定年間近な現役が、不安そうな様子には驚いた。奥さんに日本一周旅行を誘い、振られた。一緒に趣味をしようと言って、断られたらしい。奥さんと話す話題も無いという。挙句の果てに、定年後の予定が立たない。会社から就職のあっせんが無いなど、愚痴を散々聞いた。先ほど胸を張って、業務成果を報告した同じ人とは思えない。

私たち車社会を満喫し、自家用車は便利な乗り物と思っているが、最近が高齢者による交通事故が多発している。アンケート調査では、車に乗れなくなったらバスに乗るとの回答が多いが、車に乗れなくなったころには体力的にバスに乗るのは大変である。車から公共交通への乗り換えは生活様式を変えることにもなり一気に変えることは容易ではないが、月に1〜2度バスの利用を心掛けることから始めれば無理ではないと思う。バス停まで歩き、バスを降りて周辺を散策すれば普段気付かなかった景観や街並みを発見する楽しさや人との出会いがあれば知識や感性が広がります。私たちシニアは運動不足で足腰の筋力が衰えがちであるので歩く量を増やし健康寿命を高める先行投資のつもりで車から公共交通への利用を元気でいる今から考えてみてはいかがでしょうか。

おかあちゃん

多米校区
第一和来会

柴田七海子

父は65年前に亡くなり、母一人で7人の子供を育てました。私は一番下で、すくおおかあちゃん子でした。ちよつと姿が見えなくなると畑に行ったり、家の裏に行つて大きな声で「おかあちゃん、おかあちゃん」と返事があるまで、呼び続けました。

結婚して赤ちゃんができ母に知らせました。1カ月ぐらい手伝いに来てくれました。身延線に乗り富士駅で東海道本線に乗り換えて私の家まで来ます。着替えとお土産を持って来ます。2人目のときも来てくれました。富士駅まで姉と二人いつも迎えに行きます。少し間があつて3人目のとき、一応知らせました。来たいと言つので富士駅まで姉と行きました。私たちの電車が少し遅れたので、母は駅長室にいました。

私たちが行く駅長さんが涙声で「あなたは幸せなの。いいお母さんで」と褒めてくれました。何事かと思い、急いでそばに行きました。大きな包み、お土産の袋、自分のバック、財布。自分の胸の前には、私の住所や自分の住所、鉛筆をなめながら書いた荷札が針金でいっぱい付いていました。それを見て思わず「おかあちゃん」と飛び付きました。母は抱き締めながら「ほう、大きくなったね」と一言

言いました。母と同じ年代になり、私もこの母を見習いたいと思いました。

時が経てば楽しい
思い出になる

豊校区
西岩田親睦クラブ
四宮 正恒

学生時代、天皇・皇后両陛下の軽井沢でのあのロマンスにあこがれて始めたテニス。中部6県の大会でそこそこ成績を上げるまで熱中した。就職してからは職場のテニス部にも所属し退職までテニスを楽しんできた。

しかし、今や私は75歳。15年以上前から膝が悪く悪戦苦闘している。初めは整形外科のお世話になっていたが、一念発起してスポーツジムに通い足に筋肉を付けることに専念している。通い始めてもう15年以上になる。

トレーニング中に聞くとはなしに耳に入ってきた言葉が「時が経てば楽しい思い出になる」という素晴らしい言葉だった。私より少し若いご婦人二人の会話の最後に出た言葉です。お二人ともに認知症を患っている親の介護で日々苦勞している話に夢中になっておられた。私も妻も恵まれた環境にあって介護の経験が全く無く、その大変さはニュースなどで分かっているつもりだったが、本当に苦勞されている話を聞いて介護の深刻さを改めて認識したところでした。

話の最後にお一人の方が

「時が経てば楽しい思い出になる。今は大変苦しい思いをしているが、時が経てばそれも楽しい・懐かしい思い出になると思つて親の介護に努めている」と言われました。なかなかそんな優しい気持ちにはなれないのに、最後に素晴らしい言葉を聞けてすがすがしい気持ちになり、トレーニングの手を止めて思わずご婦人の顔をそつと見てしまいました。

死について

松山校区
中松山町睦クラブ
堀内 三朗

死に方はさまざまであるが、いつかは死が訪れることを、誰でも知っている。また、皆が意識してその現実を避けがちであるのも事実である。

両親、友人、親しい近隣の人々等々、多くの他者の死に遭遇し、愛別離苦のため、胸の締め付けられる苦しみに、毎度のごとである。苦しみについて、「生老病死」の四苦と、「これに」怨憎会苦「愛別離苦」「求不得苦」「五陰盛苦」の四苦を加えて、四苦八苦と言つ。人間の全ての苦しみの総称である。

苦に相対する概念として、楽について観てみよう。「楽受」「四顛倒」「寂滅為楽」の3種である。「楽受」とは対象を感受して心身ともに快い感受作用。「四顛倒」とは、苦を楽とみてしまう作用。人の不幸は蜜の味という言葉があるが、親しい友の不幸は、

自身の不幸よりつらいが、妬んでいる人の不幸は、ドーパミンの性が極楽である。「寂滅為楽」とは、生滅するものが無くなり静かな安らぎである。

以上、苦楽について概観した。死苦を死楽に転換するには、雪山掲の「寂滅為楽」しかないが、灰身滅智の修業はともできない。人は、一人一人桜梅桃李のごとく、さまざまな差異を持ってこの世に生まれてきた。さまざまな宿命といつてもいい。授けられた宿命を哀感することなく俯瞰して使い切つていこう。宿命が使命となるように、なすべきことを成してゆく、それが死を迎える作法でもある。

日々好日

東田校区
仁連木・東郷寿会
中内まつ江

毎朝8時からのNHK朝ドラの「まんぷく」を楽しみに見ています。日清食品の創業者でインスタントラーメンを發明した安藤百福さんと、妻仁子さんとの物語であります。当時の世相、疎開先で終戦を迎える。そして焼け跡、焼け出された人々、闇市、等等。

昭和20年6月19日の豊橋大空襲、その少し前、身の回りの物を持ち南設楽郡へ疎開しました。夜中、前方の山並みの空が真っ赤に揺らいで浮き上がっていました。ただただ見つめていました。幾日かして真夜中、突然ドカンドカ

ーンと山の彼方から、重く響いてくる音、不気味な振動。あとで知りました。浜松方面への艦砲射撃と。そして8月7日の暑い暑い昼。山の向こうに凄まじい黒煙がわき上がりました。青い青い空に。豊川海軍工廠への爆撃で微塵された人々、学徒動員の学生たち、多くの人が爆死しました。一学年上の美代さんに借りた教科書を返していません。豊川の公園の供養塔、四面に名前が刻んであります。

今、80歳半ば、まあまあ元気です。一緒に歳を重ねてきたご近所のお仲間たちと元気で日々、行きつ戻りつ前進です。仁連木と東郷との寿会、役員の方々の皆さまのおかげで盛会。時々講師のお話、ピンコにその他、毎月楽しくにぎやかに出かけます。

大口公園内の福祉センターは、家の近くです。毎週、いろいろな会があり、私も火曜日の東会の歌、土曜日の吹き矢の会、お風呂もあります。いきいき体操へと忙しく、日々好日です。

「牛川の渡し」体験
ツアーを計画して

津田校区
西日進会
笹野 壽

私たち「コミュニティバス「スマイル号」運営委員会は、夏休みを利用して「スマイル号」に乗って、豊川に今も残っている「牛川の渡し」を体験するツアーを計画した。親子で体験するツアーだ。

豊橋駅前から「スマイル号」に乗って大村校区の為金まで行き、そこから10分ほど歩くと渡船場に着く。渡し船に乗って豊川を横断し、対岸の牛川校区の堤防に上陸して、少し休んでから、また船に乗り戻つてくる行程だ。私が担当した、8月9日には老津校区の小学生一人と祖母、谷川校区雲谷町のお母さん、牟呂小学校の二人とお父さん、計6人が参加してくれた。

当日は猛暑でしたが、少し風もあり、船の上では涼しさが感じられた。川を渡っている間は、船頭さんが「牛川の渡し」の由来や、豊川の川幅・深さ・1日に何人乗るか」など、私たちが知らないことをいろいろ楽しく話してくれた。

私が最も驚いたのは、老津や谷川校区の豊川から随分離れた所から参加してくれたことだ。この企画を何で知ったか尋ねると、「市の広報で知つて申し込んだ」「牛川の渡し」があることは知っていたが、興味があつたので参加した」などと答えてくれた。子どもたちにも聞いたが「船に乗ることができ、いろいろ知らないことを知ることができ、良かった」と言っていた。

私はこのツアーを計画して、子どもたちに、夏休みの楽しい思い出が一つできて、良かったなと思った。



陰徳

飯村校区
第二飯寿会

西川 文子

故松原泰道先生の著書をおもとき、明日の心の糧をいただくのを習慣にしております。

先生の「近所に全盲のマッサージ師がおられ、先生も時々治療してもらわれるそうです。

家は小路の中なのに、外灯をつけたので先生が「小母さん目が見えないのになぜつけたのか」と聞かれたら「私は目が見えないから分かりませんが、この道はバス停に近く、朝晩通勤の方が通られます。夜、雨降りのときなど、転んでおけがをなさってはお気の毒です」との返事。先生は「善いことをしたね」と言われた由、私もまあこれが陰徳なのだと思えました。

徳は、心の働きによって生まれる人柄。働かすほどに心の味わいが深まります。いまだ復興途中の東日本震災、台風、山崩れ等、今年は災害の多い年でした。酷暑の中をボランティアの方が働かれるのをテレビで見ると、頭が下がる思いでした。

自分の善行がいつか知られると期待したり、何も代償がないのは寂しいと思う気持ちが心の隅に隠れています。目立たぬよう、際立たぬようにするのなら、何事も目につきません。さりげなくするところに陰徳が生まれます。

改まった気持ちからではなく、日常の小さな行いの中でさりりとすることをこれからの私の課題としていきたいと思えます。

西郷弾正

西郷校区
中山町老人クラブ若葉会
白井 孝昌

私たちの郷土、西郷校区は戦国の昔、永正19年のころより、天正18年に至る70年間西郷氏の支配下にありました。西郷氏は肥前国高来郡西郷村に起こったと伝えられ、岡崎城を築いた大草の西郷氏、篠束の西郷氏と八名郡の西郷氏との関係は、何らかのつながりがあると思われま。

永禄5年9月11日、松平氏に属していた西郷正勝は、今川の臣、遠州宇津山城の朝比奈泰長に急襲され、五本松から月ヶ谷へ帰る途中、稗林峠あたりで鯨波を聞いた元正も、はせ帰りに戦したが抗し難く、城に火を放って徒士70余人と、正勝・元正父子は共に討ち死にしました。元正の弟清員は家康の采援を願ひ、家康の力で今川勢を追ひ払い、西郷地内の五本松を取り戻したのである。

正勝・元正の跡を継いだ清員は、元正の子義勝の後見人として西川城を本拠としたが、文禄3年死去した。

清員の子家員は、西川城にあつて三方原、長篠両合戦に功を上げ、天正6年に遠州牧野原城へ移り西郷の地を離れた。次いで18年には下総国千

葉郡生実(現千葉市)に移つて、五千石を給された。

またその子である正員は、安房国東条(現千葉県鴨川市)一万石の大名となり、延員が晩年栃木壬生に移され一万石上田藩主となった。しかし故あつて滅封され、五千石の旗本となり近江国に移され明治を迎えた。

分家の中で彦根藩家老西郷藤左衛門、松本藩家老西郷新兵衛、会津藩家老西郷頼母の三家は見つけたが、他の分家は困難である。

人とのつながりの中に健康と幸福が!!

富士見校区
ニューレイク第一クラブ
石塚 秀文

地域との関わりを持つている人ほど健康状態が良いという、ある新聞記事でなるほどと感じ、ゆたかクラブ豊橋の会員が減少傾向であると聞きペン執りました。私は富士見老人クラブ会員として20年になります。人とのつながりを多く持った人ほど心が豊かになり元氣です。

私は地域のペタンクの責任者を10年余り、毎週火・土2時間仲間と楽しんでます。

協会の大会は年10回ほどあり、勝つても負けても楽しい一日です。大会には市内各地から100人くらい集まります。もう一つの顔は交通安全

の役目です。地元自治会で8年、老人クラブで11年やらせていただき、毎日登校時に子供たちとあいさつするのが楽

しみの一つです。

また、もう一つの顔は定年後、家の近くで家庭菜園100坪ほどをやっています。健康管理の一つとして大変立っています。

私は福井県から愛知県に来て50年、特に大変気に入っているのが豊橋です。中でも富士見が良い所で毎日感謝の日々です。

地球は同じリズムで秒速460メートルで1日一回転し、また秒速30キロメートルで1年かけて太陽を1周するそうです。私たちも宇宙の中の一生物、宇宙のリズムのごとく自転(自分の利)、公転(社会のため、人のために)生きていけば素晴らしい人生となるとの先人の教えです。

積善の家には必ず余慶ありとのことわざです。善を積む家には後々まで余慶ありのことです。これからも身体が続く限り頑張っていきます。

足腰鍛えて

岩田校区
平岡区老人クラブ若竹会
伊達 朝美

私は島根県出身です。「どじょうすくい」が踊れます。

もう少し上手になりたいと思ひ、安来市のどじょうすくい体験道場へ行ってきました。

その後、どじょうすくいセットをそろえ、鼻に一文銭を付けて、校区老人クラブの芸能大会に出演しました。そしたら、豊橋高齢者福祉をすすめる会から出前の依頼

があり、出掛けてきました。「皆さん一緒に踊りましょうー」とお誘いして、ちょっとだけ練習しました。足の痛い人は、椅子に座って見学してもらいましたが、曲に合わせて手を動かす人もいて、笑顔いっぱい楽しいひとときでした。そんなに上手でなくてもみんなが楽しければいいかなと思いました。

それより、「どじょうすくい」は足腰を使う踊りですの、いつまでも大丈夫な足腰でないと踊れません。足腰を鍛えて、いつまでも「どじょうすくい」ができるよう、健康で元気に楽しく過ごしたいですね。



姫街道高山宿へ

高山校区
東ふれあいクラブ
後藤 清司

皆さん姫街道をご存知ですか?

姫街道は、正式には本坂通といひ、見附宿(静岡県磐田市)から浜名湖北岸を回り、三ヶ日・本坂峠・高山を經由し、御油宿に至る近世東海道

のバイパスです。江戸時代中頃には、高山にも宿場が置か

れ、多くの旅人でにぎわいを見せたようです。今の高山ではとても考えられないことです。

ところで、この姫街道を江戸時代にいろいろな通行があつて、庶民をびっくりさせています。まず圧倒的な驚きをもって迎えたのが、家であつたと思ひます。享保の象として、歴史的にも有名な家です。

当時の8代將軍吉宗が象を見たいということで、中国の商人が献上したものです。当時、象に關するいろいろなグッズが販売され、日本全国が象フーパーとなりました。この象は、旅の途中、京都で天皇にも会つています。それが4月28日、この日は現在、象の日となっております。

次に、將軍吉宗のお母さんが通行したことが挙げられると思ひます。紀州和歌山から江戸に向かう途中、浜名湖を渡らずに姫街道を通行したので、この行列は、1万5千人とも言われています。いったい、どのくらいの長さでしょう。歩く一歩を60mと仮定すると9kmとなり、高山を出発した行列の先頭が三ヶ日につくのに、また最後は出発していないという計算になります。

このようにいろいろなエピソードが姫街道高山宿には残されています。皆さんもぜひ一度、歴史と緑豊かな高山にお越しください。



■岩田校区 北岩田一区老人クラブふたば会
人生を共に暮らして五十年
先に逝かれし淋しき暮らし
小椋かつ子

■岩田校区 北岩田三区福寿会
チロリチロ部屋の中でも虫が鳴く
耳を澄まして秋を親しむ
藤田ひな子

久々に零余子飯食む独り膳
祖母の笑顔がふつふつと湧く
伊藤みつよ
色あせし曼珠沙華咲きおえて
風にゆらゆらと畦道に並ぶ
大野 興子

台風の今年は多く上陸す
傷みし枝葉や紅葉も寂し
城 憲男

石巻の山が水面に映える秋
俵竿差す牛川の渡し
荒津 一男

■栄校区 弥生町大空会
泣くんじゃねえと言われてなお泣いて
悲しみの端辿り着きな
小山 正博

■吉田方校区 若波会
姉妹会長きに渡り楽しみ
今は思出感謝でくらす
河合 昭子

吹く風に甘き香りのジンジャーは
咲き初めたと吾を呼びたり
横山 宣世
大切な領収書までもシュレツダーに
食べさせをりて深みゆく秋
丸山三三四

■吉田方校区 菰口町寿会
夕映えに大型客船つき進む
地平線に向かい波しぶきたて
杉浦尊香子

■福岡校区 橋良老人クラブ東みどり会
司教さまの沈黙とふの説話きき
生きあふ事の幸せ深む
田中 楨子

■大清水校区 第一豊松会
台風の土産塩害草花の
枯れ足早く刈り取り遅く
鈴木 正子

■大清水校区 第二豊松会
アキアカネ群れてスイスイ飛んだ日に
やって来ましたあのオスプレイ
藤村 元司



■老津校区 老津喜楽会短歌教室
灯をともせば秋涼の風そよと吹き
老いたる我も読書楽しむ
石田 初江

老いてなを老老介護は道半ば
尽くすことに尽きる毎日
鈴木 一元恵

煮浸しの茄子大好きよ漬物も
紫色がとてもステキ
彦坂 好子

こみあげる見える喜びかくも又
幸せもたらず術後の我に
原田 玲子

初体験MRIの検査受く
大きな音にふるえ止まらず
伴 匡晃

■富士見校区 ニューレイク第一クラブ
秋しぐれ色づく紅葉山々に
幼き頃や想いにふける
早川 郁代

■飯村校区 シニアクラブ同好会
扇風機仕事を終えてお疲れさん
体を拭かれ冬眠に入る
長坂 一昭



■東田校区 仁連木・東郷寿会
戦争は全てのものを奪い合い
坂橋 章一

戦争も平和も誠に紙一重
青春は芋粥団子色気なし
畠 正行

平和です母娘戦争小競り合い
九条の御紋が目にははいらぬか
河合 正年

忘れぬ戦争記憶語り継ぐ
食求め買い出し行きし子供たち
田中みや子

戦争は花ひとひらの生命かな
映画見て鐘の鳴る丘涙流し
藤井 克代

終戦の玉音聞いて祖父は泣き
毎日が戦争だったあの時代
榎島 謙一

■幸校区 牧野町長寿会
老いてまだ口は若いとひやかされ
本多 和美

■幸校区 南松原寿会
窓際で二人で眺める星月夜
伊藤富士子



■大清水校区 第一豊松会
手をかざし寝息たしかめホットする
坂神 克子

女子駅伝這っても繋ぐ強い意志
寝むられぬ夜はお酒を友とする
小長谷あいの

日光で月光あびて露天風呂
誕生日毎に心に花が咲き
鈴木 正子

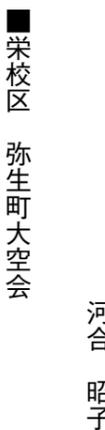
■大清水校区 第二豊松会
風邪なのかマスク美人の秋田犬
座るとき立つとき癖のドッコイショ
藤村 元司

■大清水校区 柳風会
同窓会はじける笑顔皆元氣
上下院ねじれも強気カード切る
仲井 丈二

■岩田校区 北岩田一区老人クラブふたば会
敬老会今年も逢えた笑い顔
小椋かつ子

■中野校区 中野おあしす会
風邪引かぬボクの役目は庭掃除
生涯を現役いつもそのつもり
彦坂 吉尚

■吉田方校区 若波会
猫の恋今日もうるさく眠られず
河合 昭子



■栄校区 弥生町大空会
本当の空見せたいと空が嘆く
小山 正博



■杉山校区 天津明星会
気がつけば孫を捜して文化祭
藤原 道子

■杉山校区 御園明日望会
ホームでもまだ肩書抜けぬ人
福井 紀子

■松葉校区 北一好々会
ストレッチかかるがると踏む嬬友
大林 直子

■福岡校区 小池元町百寿会
七転び八回転び歳を知る
中野美美子

■飯村校区 第二飯寿会
初生りのゴーヤヤンプル一人膳
夏目つたみ



■豊校区 春日クラブ
介護され上から目線の元先生
根本 寿一



中村 牧雄会長

下地シニアクラブは下地老人福祉センターを拠点に活動する男性34名・女性94名の合計128名からなる単位クラブです。平成30年6月に前副会長の中村牧雄さんが会長に就任し、副会長等他の役員とともにクラブ運営を切り盛りしています。

◆充実した趣味の活動

同クラブが活動の拠点としている下地老人福祉センターでは、連日さまざまな趣味の活動が展開されています。取材にお伺いした日はラジボール卓球と舞踊の活動が行われており、師走の冷え込む日にもかかわらず25〜30名ほどの方々で賑わいをみせていました。また、福祉センターの館長をはじめスタッフの皆さんや各々趣味の教室代表者の協力も得て、利用日時の調整や予定表の作成もスムーズに行われています。

市内在住の60歳以上であれば誰でも利用できる同施設には、他校区の隣接クラブからの会員も交えて趣味の活動を行っています。中村会長は「同じゆたかクラブの会員ならば、単位クラ

ブのくくりにごたわらず、楽しんでみたい趣味の活動を基準にして参加する」という考え方もあっていいのではと思つています」と、あくまで会員が気軽に参加して楽しむことによりクラブが活性化することを望んでいます。

◆多彩な活動と定例会における工夫

趣味の活動の他にも①年2回の日帰り旅行、②地元保育園児たちと年3回(節分・七夕まつり・クリスマス)老人福祉センターで交流会、③地元の夏祭りに参加し、子供会や自治会など地域の諸団体と交流、④地域包括支援センターと連携して年2回健康管理の催し、⑤校区内4カ所で開催時の見守りなど地域に根差した活動に取り組んでいます。



卓球

舞踊

このように多彩な活動を行う上で重要になるのが、毎月1回開催している定例会です。開催に際して、定例会の1週間ほど前に役員会を開き、あらかじめ議題の相談をしたり定例会当日の役割分担を決めておきます。これにより以前は議題が滞ることでもあった定例会が円滑に進行できるようになったそうです。また、より多くの方に参加してもらえよう、歌謡曲など参加者の多い趣味の活動が始まる前

の時間に定例会を開催するよう心掛けています。

◆今後の課題

今後は、地域の未加入者を取り込んでいきたいという中村会長。普段から老人福祉センターに出向いて参加している会員は半数ほどだと言います。現在、下地校区に住む高齢者は1000名以上にのぼり、シニアクラブの会員数128名からすると、加入率を上げる余地はまだあります。また男性の会員数が少ないため、男性の加入率をいかに上げていくか頭を悩ませています。「女性はおしゃべりをするのを楽しみに気軽に参加してもらえますが、男性はこれまでの社会的地位やプライドが邪魔してしまい、なかなかそうはいかないと思う。今後は男性が参加しやすい取り組みを考えていきたい」と語ってくれました。下地校区を流れる豊川の桜が満開になる頃には、会員さんが増えて活動が活発となり笑顔満開となる事を願っています。

ゆたかクラブ豊橋からのお知らせ

◆趣味の教室発表会日程表◆

| ブロック名 | 開催日時 | 開催場所 |
|-------|---------------|---------------|
| 仁連木 | 平成31年3月12日(火) | 仁連木老人福祉センター |
| つつじが丘 | 平成31年3月3日(日) | つつじが丘地域福祉センター |
| 大岩 | 平成31年3月9日(土) | 大岩老人福祉センター |
| 牟呂 | 平成31年3月9日(土) | 牟呂地域福祉センター |
| 高師 | 平成31年3月12日(火) | 高師老人福祉センター |
| 大清水 | 平成31年2月16日(土) | 大清水地域福祉センター |
| 下地 | 平成31年3月14日(木) | 下地老人福祉センター |
| 石巻 | 平成31年3月2日(土) | 石巻老人福祉センター |
| 八町 | 平成31年3月14日(木) | 八町地域福祉センター |

ご協賛各位へのお礼

この度「吉田春秋」の発刊にあたりまして、広告掲載のご協力を賜り誠にありがとうございました。本紙は、会員が生きがい・健康・教養を高めながら交流の輪が広がるよう願って刊行いたしております。今後とも何とぞ末長きご厚誼、ご支援をお願いいたします。

ゆたかクラブ豊橋

編集後記

吉田春秋をお届けします。今号もたくさんのご投稿をいただき、ありがとうございました。広報文化部では、皆さま方のご意見・投稿などをお待ちしております。

今後も読みやすく楽しい紙面づくりに努力してまいりますので、よろしくご支援をお願い申し上げます。

ゆたかクラブ豊橋 広報文化部

原稿募集

- ◎ 校区活動、単位クラブ活動、俳句、短歌、川柳、随想などの投稿を募集します(写真を添付いただく場合はきれいなものをお願いします)。
- ◎ 原稿用紙600字。俳句・短歌・川柳については各1点ずつお願いします。
- ◎ 原稿は、市内在住の市老連に加入している方に募集しています。必ず、校区名・単位クラブ名・氏名を明記してください。
- ◎ 紙面の都合上、やむなくカット・見送る場合があります。
- ◎ 締め切り/5月末日
- ◎ 投稿先/ゆたかクラブ豊橋事務局 (豊橋市今橋町1番地・豊橋市役所長寿介護課内)

☎51-2337